

## 授業展開案 高等学校英語「コミュニケーション英語Ⅰ」

## 1 テーマ

状況を描写する・現在完了形

## 2 I C T 利活用のねらい

文法についての説明を聴くだけでは理解しにくい現在完了形の用法をスライドで提示することにより、視覚的な補助を与える。また、選択式のクイズ形式で電子黒板に投影した問いに答えることで、学習内容の定着を図る。

## 3 利活用する I C T 機器及びソフトウェア

①機器：電子黒板

②教材：「現在完了形」(Microsoft PowerPoint)

## 4 I C T 利活用の場面

学習内容	I C T 利活用の場面
<p>前時の本文の内容の振り返り</p> <p>言語の働きについての導入</p> <p>表現の定着</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在完了形と過去形の確認</li> </ul> <p>自己表現活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書くことを中心とした活動</li> </ul> <p>現在完了形を使う場面設定をし、ペアやグループでコミュニケーション活動を行う。</p>	<p>①説明の補助：教師が口頭で示した文について電子黒板を使って既習事項である過去形との比較をしながら解説する。</p> <p>②繰り返しによる定着：電子黒板に問題を提示する。指名された生徒は電子黒板に触れて解答をする。</p>

## 5 ICT利活用のポイント

### ①説明の補助(図1)

教師が口頭で文を提示した後に電子黒板に文を提示する。一文を提示するだけではなく、短い会話や簡単なスキットの中で言語の使用場面を設定して文を提示する。ここでは生徒が興味をもつような例文や場面設定を考えたい。必要に応じて書き込みを行い、ポイントを整理する。イラストを使って既習事項との違いを意識させながら、簡潔に説明をする。



図1 教師の説明資料

### ②繰り返しによる定着(図2)

電子黒板を用いて問題演習を行う。答えの部分にリンクを貼っておき、生徒が電子黒板に触れて解答したら、正解、不正解、解説のスライドに移動する。問題プリントと教師による解説だけでは単調になりがちな問題演習であるが、ここでは全員で問題を見て答えを考えることができる。教師は生徒にヒントを与えたり、“Final answer?”と聞いたりして楽しく活動ができるようにする。

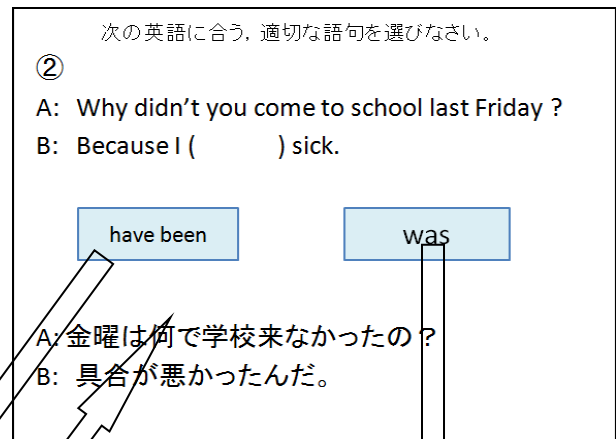
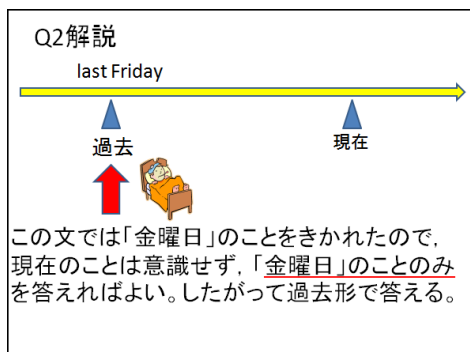
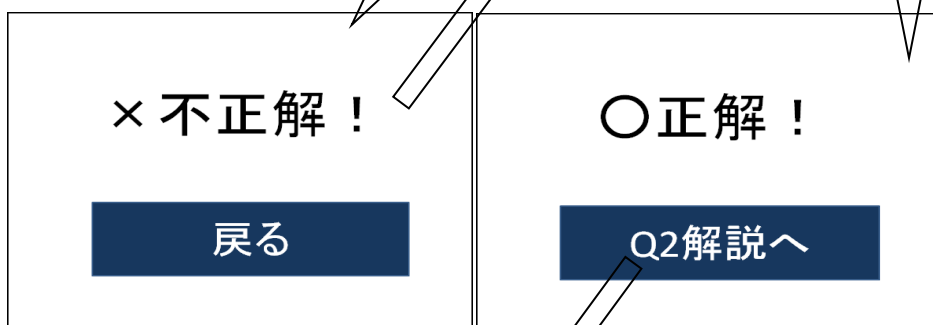


図2 電子黒板での演習



※パワーポイント「ハイパーリンク」の機能を使って矢印のようにリンクを貼る。